

今度はいまいものがターゲット!!

作品募集

第3回 #豊里町 フォトコンテスト

入賞者には
豪華賞品も!

豊里公民館では、”魅力いっぱい
の豊里”を写真で紹介する
「第3回#豊里町フォトコン
テスト」を開催します。

昔から食べているお店のあの
味、つい食べたくなるあの料理、

「食べてみて」と人に勧めたく
なる美味しいものが、町内にた
くさんありますよね。その中で
も皆さんのイチオシはなんでしょ
うか。

今回のテーマは「豊里町内の

美味しい食べ物」。あなたのお
勧めの逸品を、食べる前に写真
に撮ってぜひ応募しましょう。
入賞者には豪華賞品のプレゼン
トもあります。たくさんの応募
お待ちしております!!



募集テーマ

豊里町内の美味しい食べ物

募集期間

6月1日～6月30日

応募方法

- 1 写真をプリントしたものを公民館窓口へ提出（土日祝除く）
- 2 公民館あてEメールに送信（toyominkan2237@outlook.jp）
- 3 公民館LINE公式アカウントのトーク画面に送信



LINE

応募手順

①②③いずれかの方法により

写真とお名前など必要事項

（1～5）をお知らせください☺

必要事項

1. 氏名
2. 住所及び電話番号
3. 写真タイトル
4. 店名・おすすめメニュー
5. 一言コメント

※応募者本人が撮影し、全ての著作権を有しているものに限りま
す。
※応募いただいた写真は豊里公民館から発行する冊子（町内マップ、公民館
だより等）及び公民館ホームページで使用させていただきます。使用にあ
たり、掲載するレイアウトの都合上トリミング等の加工をさせていただく場
合がありますので、あらかじめご了承ください。

問い合わせ：豊里コミュニティ推進協議会（豊里公民館） ☎ 0225 76 2237

6月の
公民館行事

日 時	行 事 内 容	場 所
6日(火) 10時00分	シニアいきいきセミナー	公民館 中ホール
11日(日) 10時00分	囲碁・将棋サークル	公民館 会議室
13日(火) 10時00分	女性セミナー	公民館 中ホール

公民館だより
Toyosato No.122

令和5年6月1日発行

6月号



公民館HP



LINE

イベントや施設管理に約5,600万円

豊里コミュニティ推進協議会の予算決まる



総会での審議の様子

豊里コミュニティ推進協議会の総会が、5月19日(金)公民館中ホールで行われました。審議されたのは令和4年度の事業報告と決算のほか、「花いっぱい運動」や「軽トラ市」など公民館で行う令和5年度の事業計画と予算案です。

令和4年度の各会計の決算額は表1のとおりで、令和5

表1 令和4年度決算(円)

コミュニティ会計	311,650
公民館会計	32,246,190
多目的センター会計	3,994,721
平筒沼学習館会計	7,055,493
地域づくり事業会計	2,004,066
集落支援員委託費	3,462,260
合 計	49,074,380

年度の公民館や多目的研修センター、平筒沼農村文化自然学習館の管理経費や事業等の予算は表2のとおり約5,600万円となりました。

表2 令和5年度予算(円)

コミュニティ会計	402,000
公民館会計	35,626,000
多目的センター会計	5,385,000
平筒沼学習館会計	7,452,000
地域づくり事業会計	3,520,000
集落支援員委託費	3,479,000
合 計	55,864,000

総会では町内20行政区の町内会長や評議員、町域内の各種専門団体の代表者による審議の結果、すべて原案のとおり決定しました。

また本年度は、任期満了に

伴う役員改選も行われ、新しく下の表の皆さんが選ばれました。任期は令和7年3月末までの2年間です。

コロナの感染症分類が5類移行により、本年度はこれまで以上に活気あふれる事業を展開していきたいと考えていますので、皆さんのご参加をお待ちしています。

協議会の役員

役 職	氏 名	行政区
会 長	佐々木 信義	保 手
副会長	志賀 尚	加々巻
副会長	佐々木 伸雄	新 町

役 職	氏 名	行政区
理 事	佐々木 直美	下 町
	鎌田 庄喜	東二ツ屋
	須藤 重雄	庚 申
	佐藤 雅彦	長 根
	佐々木 繁己	鴛 波
	今野 守	下 町
	佐々木 和広	横 町
	後藤 清亮	保 手
監 事	秋山 千恵	下 町
	高橋 正昭	長 根

役 職	氏 名	行政区
監 事	須藤 賢治	川 前
	佐藤 昭浩	大 曲
	只野 孝喜	上谷地



公民館駐車場で開催された軽トラ市(地域づくり事業)

町民の皆さんから募集している「あなたの素敵なお話かせてください」。今回は、仲町にお住いの佐藤正美さんが長年趣味で撮り続けてきた写真への想いを聞いてきました。

写真の構図を考えるのが楽しい

半世紀で撮った作品は倉庫いっぱい

石材の加工や張り付けを行う石工事業の仕事をしていた、仲町の佐藤正美さん(94歳)。初めは仕事で施工箇所を写真に収める程度で、仕事の一環として撮っていただけでしたが、50代を境に、仕事以外でもだんだんと写真を撮るようになってきました。「特別なきっかけはなかったよ。自然と撮り始めた感じだね」と佐藤さん。若いころはがむしゃらに仕事に励み、少しずつ余裕が出てきた中で自然と始めた趣味なのだそう。

風景を撮るのが特に好きで、仕事で訪れた場所や全国各地

へ旅行に行った先々でたくさん

の写真を撮ってきました。「写真は主役と脇役の関係が重要で、その構図を考える時間が一番楽しい」と写真へのこだわりも。気に入った写真は年に1度、入会している石巻の「ひたかみ写真クラブ」で会員同士で見せ合い、交流を深めているそうです。

こうして撮りためてきた写真は、プレハブ倉庫だけでは入りきらないほどの数に。その数多くの作品の中から、特にお気に入りの1枚と町内の自慢の写真を選んでもらいました【写真・右】。

さとうまさみ
仲町・佐藤正美さん



一番は、山形県大蔵村の約120ヘクタールにも及ぶ広大な棚田です。棚田のあぜ道に明かりがつくと、真っ暗な中にまるでホタルが乱舞しているような世界が目の前に広がり

「よみうり風景コンテスト」入賞作品／【山合のホタル火】夕闇の中に燈された明かりを見ていると、幽玄の世界に誘われるようで、心身ともに癒される思いがしたそうです(山形県大蔵村の棚田)

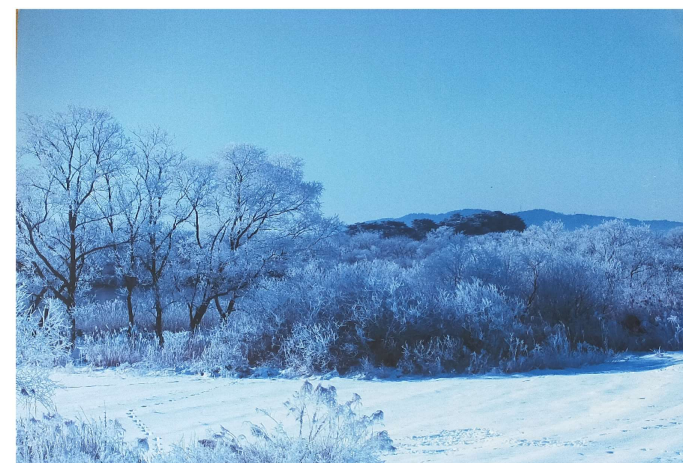


ます。その様子を収めたくて、辛抱強く待ち続けて撮ったという幻想的な一枚。思い通りにシャッターが切れ、みんなに褒めてもらったことが思い出されるそうです。また、この棚田の写真は、2006年の「よみうり風景写真コンテスト」で入賞も果たし、とても嬉しかったと当時の思い出をニコニコと話してくれました。

現在、カメラは手元に1台だけ残し、所有していたほかのカメラはお孫さんへ譲ったそうですが、94歳になった今でも、天気の良い日にはいろいろな所へ写真を撮りに出掛けているのだそうです。

「遠くまで足を延ばし、いい写真が撮れるように、たまには旅行に行こうと誘うんですよ」と話すのは娘の眞智子さん。毎週嫁ぎ先から掃除や料理を作りに通いながら、大好きな写真を撮り続けるお父さんの姿を見守っています。

去年秋には眞智子さんに連れられて、秋田県湯沢市にある小安峡へ旅行し、いい写真を撮たくさん撮ってきたと嬉しそうにお話を聞かせてくれました。「撮りたい風景がまだまだいっぱいありますよ」と語る佐藤さん。これからも体に気をつけて、趣味に忙しく元気で楽しい日々を送ってほしいですね。



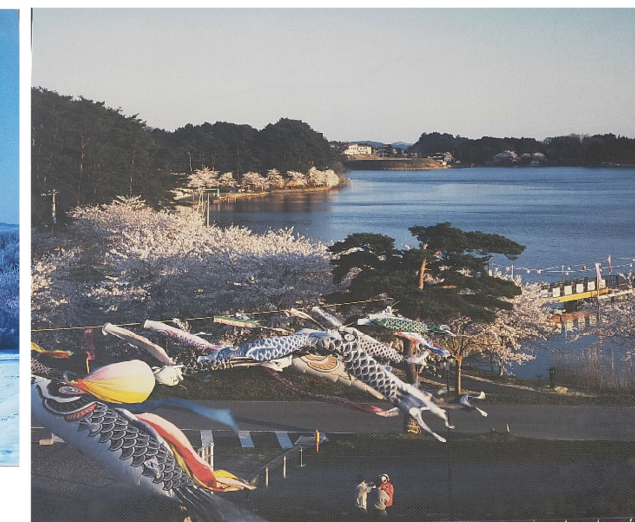
【霧氷の朝】川前から撮った雪景色。寒さが伝わってきます



【春爛漫】澄んだ青空と桜と菜の花の共演。毎年欠かさず撮影する風景です(川前の土手)



【神代時代の物語】お祭りを撮るのも大好きな佐藤さん。上町訪印神楽はコロナ禍前に撮ったもの



【平筒沼の鯉のぼり】鯉のぼりと桜、水面のコントラストがステキですね

あなたの素敵なお話させてください 募集中!

豊里公民館では、町民の皆さんからの「楽しい・面白い話題」の投稿を募集しています。

「ペットがかわいい!」「珍しいものを紹介したい!」「漬物作りがうまい!」「陶芸作品を見て!」など、公民館だよりで紹介したくなる話題を、ぜひお寄せください。投稿様式など詳しくは、右のコードからホームページにアクセスしてください。

豊里公民館



採用された方には
プレゼントも!!